令 和 元 年 度

決 算 説 明 資 料

１．経済観光文化局所管決算総括・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２．重要施策の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

３．款項目別決算資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

４．モーターボート競走事業会計利益の処分・・・・・・ 51

（参考1）決算額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

（参考2）モーターボート競走事業会計財務諸表・・・ 55

（参考3）負担金，補助及び交付金の支出状況・・・・ 59

経 済 観 光 文 化 局

１．経済観光文化局所管決算総括

（１）一般会計

（ 歳　入 ）

予算科目	予算現額				調定額 (B)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)	
(16) 分担金及び負担金	104,272	―	―	104,272	112,804
(17) 使用料及び手数料	310,590	―	―	310,590	276,350
(18) 国庫支出金	2,555,309	△1,134,691	―	1,420,618	993,044
(19) 県支出金	16	―	―	16	15
(20) 財産収入	29,225	―	―	29,225	29,851
(21) 寄附金	234,708	―	―	234,708	131,392
(22) 繰入金	4,418,687	―	―	4,418,687	4,418,687
(24) 諸収入	73,277,553	△66,263	―	73,211,290	68,948,807
(25) 市債	336,000	―	―	336,000	253,000
歳入合計	81,266,360	△1,200,954	―	80,065,406	75,163,950

（ 歳　出 ）

予算科目	予算現額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額 流用額	計 (A)
(7) 経済観光文化費					
1 商工費	84,684,374	△1,139,448	―	―	83,544,926
2 観光費	2,561,464	5,370	110,475	―	2,677,309
3 文化費	5,308,581	△65,498	―	―	5,243,083
歳出合計	92,554,419	△1,199,576	110,475	―	91,465,318

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

収入済額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (B)－(C)－(D)	翌年度繰越額 (E)	差引過不足(△)額 (C)＋(E)－(A)	収入率 (C)／(A)
112,804	－	－	－	8,532	108.2%
275,697	113	540	－	△34,893	88.8%
993,044	－	－	81,606	△345,968	69.9%
15	－	－	－	△1	93.8%
29,851	－	－	－	626	102.1%
131,392	－	－	－	△103,316	56.0%
4,418,687	－	－	－	－	100.0%
68,947,444	41	1,321	－	△4,263,846	94.2%
253,000	－	－	21,000	△62,000	75.3%
75,161,934	154	1,862	102,606	△4,800,866	93.9%

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)－(B)－(C)	執行率 (B)／(A)
78,539,053	56,767	4,949,106	94.0%
2,535,212	－	142,097	94.7%
4,818,540	230,667	193,876	91.9%
85,892,805	287,434	5,285,079	93.9%

（２）モーターボート競走事業会計

①収益的収入及び支出

（収益的収入）

予算科目	予算現額			
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 （A）
モーターボート競走事業収益	47,972,828	5,632,969	―	53,605,797

（収益的支出）

予算科目	予算現額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額流用額	計 （A）
モーターボート競走事業費用	45,887,688	4,897,195	―	―	50,784,883

収入支出　差引	2,820,914

②資本的収入及び支出

（資本的収入）

予算科目	予算現額			
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 （A）
資本的収入	―	―	―	―

（資本的支出）

予算科目	予算現額				
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額流用額	計 （A）
資本的支出	5,372,822	―	―	―	5,372,822

※資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額 3,897,296千円は、当年度利益剰余金処分額

③業務量

区分	予定量（補正後） A	実績 B	差引増減 B−A	比率 B/A
開催日数	日 166	日 166	日 ―	% 100.0
年間舟券売上金額	千円 47,299,000	千円 47,050,915	千円 △248,085	% 99.5
一日平均売上高	千円 284,933	千円 283,439	千円 △1,494	% 99.5
開催事務受託売上金額	千円 3,426,000	千円 3,466,861	千円 40,861	% 101.2
場間場外発売事務受託売上金額	千円 19,489,461	千円 18,437,758	千円 △1,051,703	% 94.6

（単位：千円）

決算額 （B）	翌年度繰越額 （C）	差引過不足（△）額 （B）＋（C）－（A）	収入率 （B）／（A）	備　考
51,569,739	－	△2,036,058	96.2%	

（単位：千円）

決算額 （B）	翌年度繰越額 （C）	不用額 （A）－（B）－（C）	執行率 （B）／（A）	備　考
48,193,876	－	2,591,007	94.9%	

3,375,863	－	554,949		

（単位：千円）

決算額 （B）	翌年度繰越額 （C）	差引過不足（△）額 （B）＋（C）－（A）	収入率 （B）／（A）	備　考
－	－	－	－	

（単位：千円）

決算額 （B）	翌年度繰越額 （C）	不用額 （A）－（B）－（C）	執行率 （B）／（A）	備　考
3,897,296	990,252	485,274	72.5%	

2,000,000千円及び繰越利益剰余金処分額 1,897,296千円で補てんした。

２．重要施策の実施状況

（　　）内は前年度決算額
★は令和元年度の新たな取組み

（１）中小企業振興施策の総合的かつ計画的な推進

79,241,359　千円（　75,756,189 千円）

中小企業の主体的な取組みを地域社会全体でバックアップし、中小企業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「みんなで応援！中小企業元気都市プラン」に基づき、中小企業の更なる振興に取り組んだ。

① 中小企業の経営基盤の強化と持続的発展の促進

70,283,269　千円（　71,150,317 千円）

ア　経営相談・助言及び資金供給の円滑化（商工費）

中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化を図るため、十分な融資枠を確保し、融資制度の充実や円滑な運用に努めるとともに、経営相談や専門家の派遣等により事業者の成長と持続的発展に向けた取組みを支援した。
また、消費税・地方消費税率の引上げに伴い、地域における消費を喚起・下支えするプレミアム付商品券の発行等を行った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
70,130,209	**○商工金融資金（68,586,000千円）** ・ 中小企業の資金調達を支援し、経営を安定させるため、低利・固定による融資を実施	・ 融資枠 1,665億円確保（30年度：2,032億円） ・ 融資残高：1,300億円、22,830件 （30年度：1,343億円、23,796件） ・ 新規貸付：　651億円、　6,079件 （30年度：　394億円、　4,788件）
	○金融対策（706,300千円） ・ 融資の際に信用保証協会に支払う保証料の一部を市が助成し、利用者の借入時の負担軽減を図るとともに、代位弁済への補助を行うことにより利用者の円滑な借入を支援	
	○経営相談・診断助言事業（18,929千円） ・ 中小企業が抱える経営、金融等の様々な課題に専門家が相談対応	・ 相談件数：12,331件（30年度：7,287件）
	・ 専門家派遣による診断助言等実施	・ 派遣実績：8社、26件（30年度：6社、17件）
	○経営支援施策普及事業（9,274千円） ・ 個別訪問による景況調査、中小企業支援施策の案内、窓口での返済相談 **【目標】** ・ 個別訪問件数：5,000件	・ 個別訪問件数：6,019件（30年度：6,156件）
	★プレミアム付商品券事業（809,706千円） ・ 消費税・地方消費税率の引上げに対応するため、商工会議所等と連携して、地域における消費を喚起・下支えするプレミアム付商品券を発行	・ 利用額：22億6,653万8,500円

イ　販路拡大及び生産性向上の促進（商工費）

中小企業の販路拡大を促進するため、既存企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントや首都圏等の企業を招いた地場中小企業との商談会を開催するほか、福岡市トライアル優良商品認定事業を実施した。

また、中小企業の生産性向上を図るため、経営課題を自己分析するワークショップやキャッシュレスを推進するセミナー等を開催した。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
12,796	**○中小企業・スタートアップ企業マッチング事業（8,008千円）** ・既存企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントを開催	・イベント内での商談件数：146件（30年度：135件）
	○福岡市トライアル優良商品認定事業(986千円) ・地場中小企業の優れた新製品や新役務（サービス）の提供を市が認定してＰＲ	・認定件数：物品　5件（30年度：5件） サービス 1件（30年度：3件）
	★経営ソリューション支援事業（1,255千円） ・経営課題を自己分析するワークショップ等を行い、業務プロセスの洗い出し、課題の抽出・整理を行うことで経営改善を支援 **【目標】** ・経営改善に有効と回答した企業の割合：80%	・経営改善に有効と回答した企業の割合：85%
	○中小企業元気都市推進事業（1,548千円） ・中小企業の生産性向上を図るため、キャッシュレスを推進するイベントやセミナー等を実施 **【目標】** ・参加者数：300人	・参加者数：248人（30年度：334人）

ウ　人材確保・就労の支援（商工費）

各区の就労相談窓口での個別相談による支援や求人開拓、職業紹介を行うとともに、業界別など福岡市内の求人を簡単に検索して応募などができる福岡市求人特集Webサイトの運用や地場企業の採用力向上を図るセミナー、学生と地場企業が相互理解を図る交流イベントを開催することにより、地場企業の人材確保と求職者の就労を支援した。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
61,903	**○ふくおかのしごと見える化事業（2,067千円）** ・福岡市内の求人を簡単に検索して応募などができる福岡市求人特集Webサイトの運用 **【目標】** ・アプリのダウンロード数：3,000	・アプリのダウンロード数：4,811（30年度：4,380）
	・求人掲載企業数：200社	・求人掲載企業数：140社（30年度：200社）
	○ふくおか地元就職・人材確保支援事業（1,910千円） ・地場企業の採用力向上を図るセミナーや、学生と地場企業の相互理解を図る交流イベント等を実施 **【目標】** ・参加者数：学生1,000人、企業500人	・参加者数：学生1,022人、企業430人（30年度：学生　943人、企業408人）
	○就労相談窓口事業（51,718千円） ・各区に設置している就労相談窓口において、担当制によるよりそい型の就労支援を実施	・就職決定件数：390件（30年度：420件） ・相談件数：3,522件（30年度：3,735件） ・新規相談者数：494人（30年度：504人）
	○働き方改革の推進（1,324千円） ・労働に関する法令・制度をわかりやすく解説した「働くあなたのガイドブック」を発行	・発行部数：11,000部（30年度：12,000部）

（商工費）

エ　商店街の振興（商工費）

商店街の新たなチャレンジを創出するため、全国の先進事例におけるキーパーソンを招いた交流会の開催や、商店街の課題解決のモデルとなる実証実験を行うほか、商店街の集客力・販売力の強化や、次世代を担う若手人材の育成等を支援するとともに、商店街でのプレミアム付商品券発行による地元消費の喚起により、商店街の活性化を図った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
27,813	**【商店街の魅力・店舗力の向上】** **○商店街イベント事業（5,020千円）** （旧：商店街活力アップ支援事業） ・ 商店街が取り組むソフト事業に対する支援 **【目標】** ・ 施策活用商店街数：15商店街	・ 施策活用商店街数：14商店街 （30年度：19商店街）
	○商店街NEXT･FOODグランプリ（3,794千円） ・ 「食」をテーマとした若い世代の来街促進及び核店舗の創出 **【目標】** ・ フリーペーパー掲載商店街数：32商店街	・ フリーペーパー掲載商店街数：31商店街 （30年度：15商店街）
	【人材力の向上】 **★商店街イノベーションMonthの実施** **（3,680千円）** ・ 全国の先進事例におけるキーパーソンを招いたトークセッションの開催により、商店街活性化に取り組む人材のネットワーク構築を支援	・ 全5回実施、延べ206人参加
	○商店街NEXTチャレンジャー育成事業 **（1,208千円）** ・ 商店街の次世代を担う若手人材の育成 **【目標】** ・ 参加人数：32人	・ 参加人数：38人（30年度：32人）
	【課題への対応】 **○商店街社会課題解決型補助金（2,952千円）** （旧：地域との共生を目指す元気商店街応援事業） ・ 地域における高齢化等の社会課題解決に向けた商店街等の取組みを支援	・ 支援実施：3商店街（30年度：3商店街）
	★モデル商店街におけるチャレンジ事業 **（156千円）** ・ 商店街の課題解決のモデルとなる実証実験	・ 支援実施：1商店街
	★商店街プレミアム付商品券事業（1,874千円） ・ 消費税引き上げ対策として、県の対象にならない商店街のプレミアム付商品券の発行を市独自で支援	・ 発行団体数：3団体

オ　伝統産業・技能の振興（商工費）

博多織、博多人形などの伝統工芸品を展示・販売する「はかた伝統工芸館」において、 本市伝統工芸品の積極的なＰＲに努めるとともに、大学や企業との共働による工芸品制作、首都圏での展示会等により認知度向上と販路拡大を図った。

また、小学生を対象としたものづくり体験事業や、博多マイスターをはじめとする技能職者の高度な技能の活用により、技能伝承や後継者発掘に努めるとともに、技能功労者等の表彰や博多マイスターの認定により、技能職者の技能の振興を図った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
50,546	**【認知度の向上・販路の拡大】** **○はかた伝統工芸館管理運営（31,586千円）** ・ はかた伝統工芸館を活用し、伝統工芸品の展示・販売・情報発信等を実施 **【目標】** ・「はかた伝統工芸館」来館者数：130,000人	・「はかた伝統工芸館」来館者数：125,278人 （30年度：135,494人）
	○博多人形・観光大使プロジェクト（200千円） ・ 産学官民が連携して「ハカタオフク」を引き続き製作し、市内企業及び観光名所に設置	・「2020 ハカタオフクの旅」と題した展示会等を開催（8ヶ所）
	【後継者の育成】 **○後継者の育成（4,775千円）** ・ 博多織技能開発養成学校を支援 ・ 博多人形師育成塾を支援	・ 受講者数：12人（30年度： 7人） ・ 受講者数：17人（30年度：27人）
	【技能の振興】 **○小学生からのキャリア教育事業（1,927千円）** ・ 将来の仕事として関心を持てるよう、小学生を対象にものづくり体験講座を実施 **【目標】** ・ ものづくり体験講座実施校数：8校	・ ものづくり体験講座実施校数：8校、578人参加 （30年度：8校、509人参加）
	○博多マイスター事業（251千円） ・ 後継者育成を目的とした講座の開催等、博多マイスターの高度な技能を活用した活動を支援	・ 博多マイスター派遣数：6人（30年度：8人） 参加者数：116人 （30年度：215人）

② 多様で活力ある成長発展の促進

7,059,228 千円（ 2,679,849 千円）

ア 創業及び第二創業並びに経営の革新（商工費）

官民共働型スタートアップ支援施設及びスタートアップカフェを相互連携して運営することにより、創業の裾野の拡大を図るとともに、スタートアップ企業のグローバル化、スケールアップ等の更なる成長や既存中小企業の第二創業を促進した。

また、国家戦略特区における規制改革に、福岡市独自の施策をあわせ、政策パッケージとして、創業支援に取り組んだ。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
311,885	**○スタートアップ支援施設事業（218,110千円）** ・民間事業者のアイディアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設の整備・運営 **【目標】** ・入居企業の資金調達額：35億円	・入居企業の資金調達額：32億円（30年度：37億円）
	○スタートアップカフェの運営（65,314千円） ・スタートアップの裾野を広げ、様々なコミュニティの核となる場の提供 **【目標】** ・相談件数：1,800件/年	・相談件数：1,997件/年（30年度：2,026件/年）
	○スタートアップ都市推進協議会関連事業（3,729千円） ・スタートアップに先進的に取り組む自治体が連携し、首都圏企業とのマッチング事業などを実施	・個別商談件数：127件（30年度：118件）
	○福岡市創業者応援団事業（3,195千円） ・経営者や専門家の共働による「福岡市創業者応援団事業」の実施	・ステップアップ助成事業応募件数：26件（30年度：32件）
	○国家戦略特区推進に関する総合経費（13,638千円） ・創業者の人材確保を支援するため、人材マッチングセンター等を運営	・人材マッチングセンターを運営し、創業者の人材確保を支援 ・開業手続きに関する申請や相談のワンストップ体制を整備・運営
	○外国人創業活動促進事業（2,613千円） ・国家戦略特区における在留資格の申請時の要件緩和を実施し、外国人の創業活動を促進 **【目標】** ・申請人数：20人	・申請人数：18人（30年度：18人）
	○外国人創業環境形成事業（2,877千円） ・外国人創業者の事務所及び住居の確保を支援することで、外国人が創業しやすい環境を整備	・補助対象者数：3件（30年度：3件）

イ　研究開発、技術革新及び新サービス創出の促進（商工費）

中小企業の研究開発、技術革新を促進するため、大学や研究機関の集積による豊富な人材と技術を活かし、九州先端科学技術研究所、福岡市産学連携交流センターなどを拠点に産学連携を推進し、ＩｏＴや有機ＥＬなどの先端科学技術分野の振興や水素エネルギーの利活用を図った。

また、国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図るため、新たに「エンジニアフレンドリーシティ福岡」の取組みを推進した。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
528,042	**○産学連携交流センター運営（100,292千円）** ・産学官連携による共同研究・開発の促進のため、レンタルラボ・オフィスを提供	・産学官連携による共同研究・開発の促進のため、レンタルラボ・オフィスを提供
	○地方発イノベーション創出環境の構築事業（19,657千円） ・中小企業の研究開発力の向上やスタートアップ創出・育成などの推進 **【目標】** ・よろず相談対応件数：100件	・よろず相談対応件数：105件（30年度：143件）
	○九州先端科学技術研究所（ＩＳＩＴ）支援（275,715千円） ・ＩＴやナノテクノロジー分野等の産学連携を推進	・ＩＳＩＴの国等プロジェクト獲得数：4件（30年度：2件）
	○水素リーダー都市プロジェクト（37,885千円） ・下水バイオガスによる水素ステーションなど先進的なプロジェクト等を実施 **【目標】** ・水素利活用プロジェクト数：2件	・燃料電池トラック技術開発実証など水素利活用プロジェクト数：4件（30年度：4件）
	○ＩｏＴ新サービス創出支援事業（3,113千円） ・ＩｏＴ向け通信ネットワークによる実証環境の提供を行う **【目標】** ・ネットワークを活用した実証：10件	・ＩｏＴ向け通信ネットワーク「Fukuoka City LoRaWAN」を活用した実証実験数：13件（30年度：38件）
	★エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進（49,308千円） ・エンジニアが集まる場の提供 ・エンジニア向けのイベント等の実施、情報発信	・エンジニアカフェの開設・運営 ・アワードの実施やフェスティバルの開催、情報発信等
	○大学のまちづくり（5,845千円） ・産学官連携による「大学のまち福岡」の魅力向上及び情報発信 **【目標】** ・ホームページアクセス数 ： 150,000件/年	・ホームページアクセス数：219,114件/年（30年度：179,880件/年）

ウ　海外市場へのビジネス展開の促進（商工費）

食関連産業、サービス産業、ヘルスケア関連産業等の産業分野を中心に、地元経済団体等との連携や展示会への出展等を通じて、地場中小企業の海外販路拡大や外国企業とのビジネス連携促進を図った。

また、アジア経済交流センターにおいて、貿易相談やグローバル人材育成支援等を行った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
54,074	**○アジアビジネス促進支援事業（9,891千円）** ・ 地場企業の海外販路拡大や外国企業との連携を支援 ・ 民間企業主体の協議会の運営を支援し、展示会への共同出展等を通じて、「福岡・九州の食」の海外でのブランド化を推進 ア　商談会の開催 イ　展示会・物産展出展 ウ　セミナー開催 エ　その他 **【目標】** ・ 商談件数 ： 820件 **○アジア経済交流センター等事業（28,000千円）** ・ （公社）福岡貿易会において、地場中小企業の貿易相談やグローバル人材育成等を支援 **【目標】** ・ グローバル人材育成事業受講者数 ： 3,375人 **○フードエキスポ九州（3,500千円）** ・ 地元経済団体と連携し、世界的にも優れた高付加価値の九州産農林水産物、加工食品を国内外に発信し、地場食品関連産業の更なる売上向上、販路拡大及び地域経済の振興を促進 **【目標】** ・ 商談件数 ： 887件(平成30年度実績)以上 **★国際ビジネスセミナー（3,561千円）** ・ G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議の開催にあわせ、フィンテック（金融×テクノロジー）等をテーマとしたセミナーを地場中小企業向けに開催	ア　中国、ミャンマー等　計8件 イ　米国、ミャンマー等　計8件 ウ　海外ビジネスセミナー等 計11件・参加者647人 エ　福岡フードビジネス協議会定例会等9回 ・ 商談件数：876件（30年度：816件） ・ グローバル人材育成事業受講者数：3,210人 （30年度：3,721人） ・ 商談件数：756件（30年度：887件） ・ セミナー参加者：188人

エ　クリエイティブ関連産業の振興とにぎわいの創出（商工費）

ゲームやファッションなどクリエイティブ関連産業において、ビジネス拡大や人材育成等を支援するとともに、アジアンパーティにおいて、アジアフォーカス・福岡国際映画祭やクリエイティブ・フェスタを開催し、福岡フィルムコミッションの活動等とあわせて「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」の都市ブランド形成に取り組んだ。

また、ユネスコ無形文化遺産に登録された「博多祇園山笠」や、どんたくの起源である「博多松囃子」をはじめ、福岡・博多を代表するまつりの魅力を発信し、誘客促進を図るとともに、屋台について、福岡市屋台基本条例の趣旨を踏まえ、観光資源としての効用をさらに発揮していけるよう、屋台の魅力向上に取り組んだ。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
155,678	**○クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業（76,410千円）** ・産学官で構成する「クリエイティブ福岡推進協議会」において、セミナー・交流会等のイベントを通じた交流の場を創出 ・アジアとクリエイティブをテーマとした各種事業を「アジアンパーティ」として開催	・セミナー・交流会の開催：1回（30年度：6回） 参加人数：250人（30年度：12,155人） ・クリエイティブフェスタ入場者数：約50,000人（30年度：約87,000人） アジアンパーティ開催実績：25事業、約66万人（30年度：18事業、約44万人）
	★クリエイティブ分野における戦略的海外展開事業（4,500千円） ・地元クリエイティブ関連企業の海外ビジネス拡大を図るため、国際的クリエイティブイベントにPRブース等を出展し、ビジネスマッチングを支援	・出展企業：6社 商談件数：29件
	○クリエイティブ関連産業の振興（18,477千円） ・「福岡ゲーム産業振興機構」において、人材育成事業等を実施 **【目標】** ・ゲーム関連企業数 ： 39社 ・ゲーム関連企業従事者数 ： 2,300人	・ゲーム関連企業：36社（30年度：37社） ・ゲーム関連企業従業者数：1,941人（30年度：2,135人）
	・「福岡アジアファッション拠点推進会議」により、ビジネス機会拡大支援等を実施 **【目標】** ・合同展示商談会(ﾌｧｯｼｮﾝ) 商談件数：1,200件	・合同展示商談会（ファッション）：879件（30年度：1,166件）
	★スポーツビジネス創出事業（2,618千円） ・eスポーツを通じたゲーム関連産業等の新たなビジネス展開促進を図るため、ビジネスマッチング支援等を実施	・セミナー・交流会の開催：1回 参加人数：120人（72団体）
	○アジアフォーカス・福岡国際映画祭（37,428千円） ・「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」を開催し、アジア映画の上映等を実施	・アジア20か国・地域の61作品を上映 ・来場者数：31,483人（30年度：34,457人） ・商談会：商談件数150件以上（30年度:243件以上）（11か国・地域、45社、61人が参加）
	○フィルムコミッション事業（6,970千円） ・映画やドラマなどのロケ誘致・支援を通じて、地元映像産業の振興を図るとともに、福岡を国内外に発信する事業を展開	・撮影支援件数：87件（30年度：112件）（国内74件、海外13件） ・ロケ支援事業者登録数：254件（30年度：243社）
	★祭りの魅力発信事業（6,564千円） ・九州・山口の祭りが集結する「祭りアイランド九州(熊本市)」への博多松囃子の参加支援等を実施	・参加団体数：37団体 ・観客数：約220,000人（2日間合計）

オ　企業立地及び産業集積の促進（商工費）

立地交付金制度や地方拠点強化税制を活用し、本社機能や情報関連産業・デジタルコンテンツなどのクリエイティブ産業をはじめ成長性が高い分野の企業誘致を推進した。

また、外国企業に対する情報発信や福岡進出サポートを行うとともに、海外向けのシティセールス、外国経済団体や海外諸都市との連携などにより、外国企業の誘致を進めた。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
6,009,549	**○企業立地促進制度の実施（5,991,435千円）** ・ 立地交付金制度等を活用し、国内外からの企業立地を促進 **【目標】** ・ 成長分野・本社機能の進出企業数：55社/年（うち外国企業等 17社） **○重点分野の企業誘致推進事業（18,114千円）** ・ アジア地域を中心に各都市の特性に合わせた経済交流・企業発掘・進出サポート等の展開 ・ クリエイティブ人材の市内企業へのU/Iターン転職支援等 ・ 海外における投資誘致セミナーの開催	・ 交付金適用件数：48件（30年度：45件） ・ 成長分野・本社機能の進出企業数：53社（うち外国企業等15社）（30年度：57社（うち外国企業等14社）） ・ 外国企業等との連絡・情報提供回数：1,009回（30年度： 732回） ・ クリエイティブ人材の市内企業へのU/Iターン転職支援等 ・ ベトナムで開催されたIT関連ビジネスカンファレンスにて福岡市のビジネス環境のPRを実施

③ 観光・ＭＩＣＥの振興

1,898,862 千円（ 1,926,023 千円）

ア 観光ブランドの推進と観光産業の振興（観光費）

直行便が就航するアジア市場に加え、大規模スポーツ大会の開催にあわせて更なる来訪が見込まれる欧米豪市場に対しても、「食」や「歴史・文化」、「自然」など、福岡の様々な魅力のブランド化を推進し、観光客誘致に繋げるとともに、国内外からの観光客の利便性を高める環境づくりを推進することで、観光産業の振興を図った。

また、市民生活との調和に配慮した持続可能な観光振興等について検討を進めた。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
68,837	**○観光プロモーション事業（23,173千円）** ・ 直行便就航エリアへのプロモーションを実施し、福岡の様々な魅力のブランド化を推進	・ 旅行社を対象とした現地プロモーションを実施するとともに、様々なメディアを活用した情報発信等を実施
	・ アジアの観光市場における知名度向上のために、アジアのメディア等に直接福岡をＰＲ	・ 旅行社招請による旅行商品造成、情報発信を実施
	・ ラグビーワールドカップの開催に向け、欧州の現地メディアを活用した情報発信等を実施	・ ウェブサイトを活用した情報発信を実施
	【目標】 ・ 現地説明会参加者数 ： 120人 ・ 海外メディア等掲載数： 10件	・ 現地説明会参加者数 ： 91人（30年度：92人） ・ 海外メディア等掲載数: 23件（30年度：23件）
	○福岡市・九州離島広域連携事業（6,469千円） ・ 福岡市から直行便がある５離島と連携して、旅行商品の販売促進や現地プロモーション、公式ホームページでの情報発信等を実施	・ 観光分野の人材育成、旅行商品の造成等 福岡－離島航空路・航路利用者数：583,730人 （30年度：579,403人）
	○戦略的情報発信事業（21,410千円） ・ 観光情報サイト「よかなび」の管理運営、情報発信等を実施 ・ 観光情報サイト「よかなび」において、本日開催のイベント・ツアー情報を多言語により発信したほか、ラグビーワールドカップにあわせ特設ページを作成し、情報発信を実施	・ 「よかなび」へのスマートフォンでの訪問数：404万回（30年度：310万回） ・ ビジターズガイド（８か国・地域向け）や観光マップの発行 合計63.5万部（30年度：63.5万部） ・ 観光情報サイト「よかなび」でのイベント及びツアー情報発信件数：793件（30年度：788件）
	○おもてなし推進事業（2,982千円） ・ 第７回福岡検定を実施	・ 福岡検定受験者数：614人（30年度：613人） ・ 団体受験申込団体：23団体（30年度：18団体）
	★持続可能な観光振興の検討（12,804千円） ・ 観光振興条例の制定を受け、九州のゲートウェイ機能強化に向けた取組みや市民生活との調和に配慮した持続可能な観光振興の検討等を実施	・ 観光振興条例に定める施策について、今後の取組みの方向性をまとめた「観光・MICE推進プログラム」を策定 （令和2年1月）

イ　エリア観光の推進（博多部、セントラルパーク、市街化調整区域等）（観光費）

日本で唯一の歴史資源（鴻臚館・福岡城、元寇防塁、志賀島等）の磨き上げと発信、博多旧市街プロジェクトの推進及び、市街化調整区域における観光振興などにより、エリアとしての魅力向上と集客促進に取り組み、地域経済の活性化を図った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
41,991	**○日本で唯一の歴史資源活性化事業(25,952千円)** ・「福岡城むかし探訪館」「三の丸スクエア」「鴻臚館跡展示館」を活かした鴻臚館・福岡城エリアへの集客促進 ・金印・志賀島、元寇防塁エリアの自然・景観や歴史、食を組み合わせた回遊促進や情報発信を地域や事業者との共働により実施 **【目標】** ・福岡城むかし探訪館・三の丸スクエア 来館者数：124,000人	・乗馬や着物着付けの体験コンテンツ及びデジタル技術で福岡城散策を楽しむコンテンツを実施 ・福岡城御城印の作成（試行配布） ・元寇防塁リーフレットの改訂・配布による市内元寇防塁関連施設の周知 ・福岡城むかし探訪館・三の丸スクエア 来館者数：151,304人（30年度：147,563人）
	○歴史文化を活かした観光振興事業（1,502千円） ・歴史文化と小規模事業者等との連携による新たな観光魅力の創出 ・史跡・文化財マップ等の多言語化	・博多旧市街マップの多言語化を実施 （既存：日・英　新規：仏・韓・中簡・中繁）
	○博多旧市街プロジェクト（4,706千円） ・博多部のストーリー性のある情報発信やロゴを活用した博多旧市街のＰＲ、エリア全体の観光振興の検討、観光案内板の改修等を実施 **【目標】** ・３館の来館者数 ・アジア美術館：450,000人 ・「博多町家」ふるさと館：150,000人 ・はかた伝統工芸館：130,000人	・ラグビーワールドカップにあわせ、欧米豪の観光客へのおもてなしイベント「博多旧市街フェスティバル」を実施 ・博多駅デッキ部分（交通センター前）の観光案内板板面を改修 ・３館の来館者数 ・アジア美術館：382,779人 （30年度：462,725人） ・「博多町家」ふるさと館：149,685人 （30年度：110,766人） ・はかた伝統工芸館：125,278人 （30年度：135,494人）
	○まち歩き振興事業（5,729千円） ・観光案内ボランティアのガイド能力（接遇・知識等）のスキルアップや新コースの開発	・まち歩きコース数：61コース （30年度：59コース）
	○市街化調整区域における観光ビジネス活性化事業（1,928千円） ・志賀島周辺での自転車安全走行のための環境づくりや、市営渡船を活用した民間事業者との連携による集客促進等を実施 **【目標】** ・志賀島周辺エリア内での外国人レンタサイクル利用者数　：　1,000人	・サイクリストの安全走行のため「道切部」の清掃を実施 ・志賀島渡船場内の観光案内板デザインの改修 ・志賀島周辺エリア内での外国人レンタサイクル利用者数：980人（30年度：945人）

ウ　クルーズ船の誘致及び受入環境の整備（観光費）

大型クルーズ船の寄港が続くなか、多様なクルーズの誘致や博多港発着クルーズの振興及びＦＩＴ（訪日外国人個人旅行）の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化に取り組んだ。

また、観光バスによる交通課題の解消を図るため、寄港地観光手配予約システムの活用による訪問先・訪問時間の分散化や、公有地を活用した乗降場・駐車場の確保など観光バスの受入環境の改善を行った。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
62,839	**○クルーズ船誘致事業（7,805千円）** ・ 船社訪問等によるクルーズの誘致 ・ 船内見学会の開催等による博多港発着クルーズの振興 **○クルーズ船観光客の受入調整事業（11,212千円）** ・ 寄港地観光手配予約システムの活用によるクルーズ船観光バスの訪問先・訪問時間の分散化 ・ ＦＩＴ（訪日外国人個人旅行）の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化 **○観光バス受入環境の改善事業（37,412千円）** ・ 交通指導員の配置による駐車場への誘導 ・ 公有地を活用した乗降場、駐車場の確保 **○外国クルーズ客船受入事業（6,410千円）** ・ 外国クルーズ船観光客の受入体制の充実	・ クルーズ船寄港数 元年：229回（外航 206回、内航 23回） 30年：279回（外航 264回、内航 15回） ・ 寄港地観光手配予約システムを利用した観光バス台数：12,881台（30年度：18,342台） ・ オフィシャルツアー造成に向けたFAMツアーの実施 ・ 百道浜地区での観光バス「ショットガン方式」の運用等 ・ クルーズセンター等でのボランティアによる観光案内の実施

エ　ＭＩＣＥの振興（観光費）

国内外のＭＩＣＥ関係者とのネットワークを活用し、Meeting Place Fukuokaによる戦略的な誘致や、ワンストップサービスによる開催支援を行うほか、Ｇ20やラグビーワールドカップなどの大規模国際イベントを契機としたＭＩＣＥ業界を担う人材の育成や、観光回遊や消費を促す質の高いおもてなしなどに取り組んだ。

また、ＭＩＣＥ機能の強化を図るため、ウォーターフロント地区において、ＭＩＣＥ施設が一体的・機能的に配置された「オール・イン・ワン」の実現を目指し、マリンメッセ福岡Ｂ館・立体駐車場の整備のほか、ＭＩＣＥ施設の整備等に係る検討を進めた。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
1,725,195	**○ＭＩＣＥ誘致推進事業（37,035千円）** ・ QS-APPLE、アジア神経精神薬理学会などの開催支援やコンベンションの開催助成などを実施	・ 助成金交付実績　37件（30年度：39件） 元年度内訳　国際会議：18件、国内会議：19件
	○ＭＩＣＥワンストップ体制の運営（24,891千円） ・ Meeting Place Fukuokaを中心としたセールス活動や主要なＭＩＣＥ商談会等への参加、ＭＩＣＥセミナーなどを実施	・ 誘致実績：205件（うち国際78件） （30年度：222件（うち国際76件）） ・ ＭＩＣＥセミナーの開催 大学関係者等を対象に、ＭＩＣＥの支援内容等を紹介
	★ＭＩＣＥ人材育成事業（3,125千円） ・ 大学生等に対し、G20やラグビーワールドカップ等における実習やＭＩＣＥ研修、ＭＩＣＥ業界とのマッチング事業を実施	・ 事業期間：2019年４月～12月 ・ 参加学生：124人（カリキュラム修了者62人） ・ 参加大学等：９校 ・ マッチング事業：９社がブース出展
	○スポーツＭＩＣＥの振興（2,479千円） ・ 2019年ラグビーワールドカップの開催に向けて、事業者や商店街等に対し、セミナーや勉強会を開催 **【目標】** ・ セミナー・勉強会の開催回数：6回	・ セミナー・勉強会の開催回数：3回
	★ラグビーワールドカップ2019おもてなし事業（6,300千円） ・ 商店街など地元文化が体感できる場で食や体験等を楽しむ歓迎祭の開催や博多旧市街プロジェクトと連携した魅力の発信	・ 歴史・文化体験できる「博多旧市街フェスティバル」の開催や多言語情報発信の強化 ・ 多言語やキャッシュレス対応している「おもてなし店舗(364店舗)」の広報
	○ＭＩＣＥ施設維持（774,232千円） ・ 長期修繕計画に基づくマリンメッセ福岡の修繕等を実施	・ マリンメッセ福岡屋根改修工事外79件 ・ マリンメッセ福岡大規模修繕の実施設計等
	○国内を代表するＭＩＣＥ拠点の形成（449,461千円） ・ マリンメッセ福岡Ｂ館等の整備やＭＩＣＥ施設の整備等にかかる検討	・ マリンメッセ福岡Ｂ館等の建設工事や造成インフラ工事、ＭＩＣＥ施設の整備等にかかる検討を実施

（２）文化芸術の振興と文化財の保存・活用

2,105,129　千円（　　1,706,522 千円）

ア　文化芸術の振興（文化費）

文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と都市の魅力向上に向け、東京五輪や世界水泳選手権福岡大会を見据え、福岡市文化プログラムとして、福岡の歴史・文化の魅力を広く国内外に発信していくとともに、市民の文化芸術の鑑賞・体験機会の充実や、文化活動の活性化などに資する取組みを実施した。

また、文化施設の適切な管理運営を行うとともに、建替え期を迎えた市民会館の機能を継承する拠点文化施設の整備に向け、事業者の公募、選定を行った。

<table>
<tr><th rowspan="2">決算額
（千円）</th><th colspan="2">事　業　内　容</th></tr>
<tr><th>主な取組み</th><th>成果・実績</th></tr>
<tr><td rowspan="1">1,053,747</td><td>
○東京五輪を契機とした文化振興推進事業
（13,654千円）
・ 東京五輪や世界水泳選手権福岡大会を見据え、国の取組みと連動し、福岡の歴史・文化の魅力を「福岡市文化プログラム」として国内外に広く発信

○子ども文化芸術魅力発見事業（6,772千円）
・ 子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験できる機会の創出を目的に、音楽・ダンス・演劇・日本伝統文化・国際文化のワークショップを小学校などで実施
【目標】
・ 参加者数：5,500人

○福岡市民芸術祭（10,760千円）
・ 市民による文化芸術活動の活性化等を目的に、10月～12月に市内で開催される文化芸術の公演・発表会の広報等を一体となって実施
【目標】
・ 参加者・来場者数：70,000人

○拠点文化施設整備事業（市民会館の再整備）
（24,614千円）
・ 2024年開館を目指し、事業者の公募、選定を実施

○文化施設の管理運営（997,947千円）
・ 博多座等の管理運営とともに、計画的な維持補修を実施
【目標】
<table>
<tr><th>区　分</th><th>元年度</th></tr>
<tr><td>博多座入場者数
（市民檜舞台の月除く）</td><td>460,000人</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>区　分</th><th>元年度</th></tr>
<tr><td>市民会館稼働率（大ホール）</td><td>80.0%</td></tr>
<tr><td>千代音楽･演劇練習場稼働率</td><td>83.0%</td></tr>
<tr><td>祇園音楽･演劇練習場稼働率</td><td>92.0%</td></tr>
<tr><td>大橋音楽･演劇練習場稼働率</td><td>88.0%</td></tr>
<tr><td>千早音楽･演劇練習場稼働率</td><td>91.0%</td></tr>
<tr><td>福岡ｻﾝﾊﾟﾚｽ稼働率（大ﾎｰﾙ）</td><td>82.0%</td></tr>
</table>
</td><td>
・ 福岡市を代表する歴史的エリアである「博多旧市街」において、文化財の中で現代アート作品を展示する屋外型イベント「まるごとミュージアム」を実施
・ 各団体が実施する多彩な文化事業を、国の認証制度を活用し、WEB等により一体的に情報を発信

・ 参加者数：5,282人（49校）
（30年度：5,137人（50校））

・ 参加者・来場者数：133,168人
（30年度：128,866人）

・ 事業者を公募し、落札者を決定

<table>
<tr><th>区　分</th><th>元年度</th><th>30年度</th></tr>
<tr><td>博多座入場者数
（市民檜舞台の月除く）</td><td>358,274人</td><td>438,087人</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>区　分</th><th>元年度</th><th>30年度</th></tr>
<tr><td>市民会館稼働率（大ホール）</td><td>76.3%</td><td>73.6%</td></tr>
<tr><td>千代音楽･演劇練習場稼働率</td><td>81.1%</td><td>82.7%</td></tr>
<tr><td>祇園音楽･演劇練習場稼働率</td><td>90.7%</td><td>91.9%</td></tr>
<tr><td>大橋音楽･演劇練習場稼働率</td><td>88.7%</td><td>88.1%</td></tr>
<tr><td>千早音楽･演劇練習場稼働率</td><td>92.8%</td><td>92.6%</td></tr>
<tr><td>福岡ｻﾝﾊﾟﾚｽ稼働率（大ﾎｰﾙ）</td><td>73.5%</td><td>82.8%</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

イ　美術館・博物館の魅力及び機能の充実（文化費）

美術館、アジア美術館、博物館において所蔵品の充実や魅力的な展覧会の開催に努めるとともに、子どもたちがアートや歴史文化に触れる機会の提供や連携企画の実施等、３館が一体となった取組みを進めた。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
759,229	**○展覧会の開催などによる誘客促進**	※ 令和2年2月27日～3月20日は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館
	＜美術館＞ **【目標】** ・ 施設利用者数：550,000人 うち常設展等の観覧者数：530,000人	・ 施設利用者数：509,240人（30年度:14,372人） うち常設展等の観覧者数：487,689人 （30年度： 13,367人）
	特別企画展 ・福岡市美術館リニューアルオープン記念展	・観覧者数：66,729人　※平成31年3月21日～令和元年5月26日
	・富野由悠季の世界	・観覧者数：34,580人
	・ｷﾞｭｽﾀｰｳﾞ・ﾓﾛｰ展　ｻﾛﾒと宿命の女たち	・観覧者数：39,178人
	・不思議の国のアリス展	・観覧者数：26,577人
	・大浮世絵展 －歌麿、写楽、北斎、広重、国芳　夢の競演	・観覧者数：22,852人
	＜アジア美術館＞ **【目標】** ・ 施設利用者数：450,000人 うち常設展等の観覧者数：290,000人	・ 施設利用者数：382,779人（30年度:462,725人） うち常設展等の観覧者数：212,090人 （30年度：281,189人）
	特別企画展 ・おいでよ！絵本ミュージアム2019展	・観覧者数：55,055人
	・福岡アジア美術館 開館20周年記念 アジア美術、100年の旅	・観覧者数： 7,307人
	＜博物館＞ **【目標】** ・ 施設利用者数：520,000人 うち常設展等の観覧者数：410,000人	・ 施設利用者数：630,318人（30年度:480,251人） うち常設展等の観覧者数：554,303人 （30年度：411,369人）
	主な特別企画展 ・侍SAMURAI～もののふの美の系譜～	・観覧者数： 71,833人
	・挑む浮世絵 国芳から芳年へ	・観覧者数： 14,887人
	・ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～	・観覧者数：397,595人　※平成31年3月15日～令和元年6月23日
	○美術館リニューアル（683,790千円） ・ 開館記念展の開催、コレクションを核としたSNS 等による積極的な広報・情報発信等	・ 開館記念展の開催のほか、ホームページやSNSなどによるコレクションの魅力を伝える広報等を実施
	○アジア美術館交流事業（3,525千円） ・ アジアの美術作家・研究者等を招聘し、市民が参加体験する美術交流事業を実施	・ ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ：６回243人(30年度：３回143人) ・ トーク：７回420人（30年度：８回385人） ・ 滞在制作作品展実施：１回（30年度：１回）
	○ミュージアム連携の推進（4,397千円） ・ 子どもを対象とした事業を実施するとともに、福岡ミュージアムウィークの開催や、ミュージアム情報サイトの運用、３館連携企画の実施など、３館をはじめ市内のミュージアムの連携を推進 **【目標】** ・ 子どもを対象とした事業 **＜美術館＞** スクールツアー、どこでも美術館等 80回、5,000人 **＜アジア美術館＞** スクールプログラム 40回、2,000人 **＜博物館＞** 出前学習、こども博物館等 70回、7,000人	**＜美術館＞** スクールツアー、どこでも美術館等 63回、4,356人 **＜アジア美術館＞** スクールプログラム 34回、1,193人 **＜博物館＞** 出前学習、こども博物館等 80回、7,574人

ウ　文化財の保存・活用（文化費）

福岡の歴史資源、文化財を適正に保存するとともに、観光・集客、にぎわいの拠点として活用するため、遺跡の発掘調査や環境整備、情報発信に取り組んだ。

福岡城については、市民にとってより身近な親しめる史跡として、また、ユニークベニューとして活用していくため、歴史的建造物の復元整備事業等を推進した。

赤煉瓦文化館については、経年劣化した建物の補修や長期保全を図るための調査を、埋蔵文化財センターについては、改修工事に向けた基本設計をそれぞれ行った。

また、「博多遺跡群出土重要遺物」については、デジタルコンテンツや複製品作成の基礎となる３Ｄ計測を行い、「庚寅銘大刀」を含む遺跡の出土品については、展示・公開やシンポジウムを開催した。

決算額（千円）	事業内容	
	主な取組み	成果・実績
292,153	**○福岡城跡復元整備事業（85,464千円）** ・ 石垣修理、潮見櫓復元検討等の実施	・ 祈念櫓石垣の修理の実施 ・ 潮見櫓復元にかかる調査検討の実施
	○福岡城整備基金（30,225千円） ・ 福岡城整備に向け、市民等から寄附の協力を得るための基金運営、積立	・ 寄附金収入：30,225千円／年 （30年度：26,667千円／年）
	★鴻臚館整備・活用事業（6,811千円） ・ 鴻臚館跡展示館の露出展示の改修設計及び一部改修の実施	・ 露出展示の改修設計及び一部改修を実施
	★老司瓦窯跡環境整備事業（15,040千円） ・ 文化財の防災工事の実施	・ 法面の保護工事等を実施
	★赤煉瓦文化館改修事業（39,884千円） ・ 耐震基礎診断を行い、その補強策の策定と修復工事の実施	・ 長期保全のための耐震基礎診断・耐荷重診断調査と経年劣化した施設の修理を実施
	○埋蔵文化財整理室の集約事業（4,874千円） ・ 市内３か所の整理室を月隈収蔵庫・旧舞鶴中学校跡等へ移転集約	・ 室見整理室を旧舞鶴中学校跡へ移転させ、解体工事実施設計を実施
	★埋蔵文化財センター整備事業（34,733千円） ・ 老朽化に伴うセンターの再整備	・ 改修工事基本設計を実施 収蔵棚を設置、物品の運搬
	○埋蔵文化財センター月隈収蔵庫整備事業（61,572千円） ・ 収蔵庫として取得した月隈収蔵庫の維持管理	・ 施設の維持管理を実施 屋根庇改修工事を実施
	○元寇防塁環境整備事業（2,341千円） ・ これまでの発掘調査成果を含む測量図作成	・ 今津地区の詳細測量図作成
	○博多遺跡群出土重要遺物活用事業（1,765千円） ・ 博多遺跡群出土陶磁器埋納遺構の３Ｄ計測を実施	・ 博多遺跡群出土重要遺物の３Ｄ計測を実施
	○庚寅銘大刀保存活用事業（1,991千円） ・ 国重要文化財指定を記念してのシンポジウム・講演会の開催	・ シンポジウム・講演会の開催（450人参加）

（３）ボートレース事業の推進

2,000,000　千円（　　2,000,000 千円）

※一般会計繰出金

ＳＧ第46回ボートレースオールスターの開催や場内で最大４場、外向発売所（ペラボート福岡）で最大８場の場外発売を行い、約690億円の売上を確保し、20億円を一般会計に繰り出した。

また、東スタンドについて、経年劣化した施設の内装や設備の改造工事を行い、お客さまにとって安全で快適な親しみやすい環境の整備を進めた。

区　分	決 算 額 （千円）	事　業　内　容	
		主 な 取 組 み	成 果 ・ 実 績
売　　上	68,955,534 （本市主催レース 47,050,915 開催事務受託レース 3,466,861 場外(受託)発売 18,437,758）	・ 全国発売レースの開催 （ＳＧ第46回ボートレースオールスター） ・ 外向発売所における売上の確保 ・ ＳＧレース等全国発売レースの招致活動 ・ 東スタンド改造工事の実施	・ 売上： 108億円 （30年度：ＰＧＩ第19回マスターズチャンピオン　55億円） ・ 売上：150億円（30年度：157億円） ・ 令和2年度 ＳＧ第56回ボートレースクラシック開催決定 ・ 令和2年8月リニューアルオープン ※ 令和2年2月28日～3月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、無観客レースの実施及び外向発売所を閉館
一般会計への繰出金	2,000,000	**【目標】** ・ 繰出金20億円を目標に事業運営	・ 20億円を一般会計に繰り出し （30年度：20億円）

３．款項目別決算資料

（１）一般会計　　（　歳　入　）

ページ 決算事項別明細書	ページ 主要施策成果説明書	款・項	目	予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額	予算現額 前年度繰越額	予算現額 計(A)	調定額(B)
14～15	8	(16)分担金及び負担金 1. 負担金	5. 経済観光文化費負担金	104,272	―	―	104,272	112,804
20～23		(17)使用料及び手数料 1. 使用料	6. 経済観光文化使用料	304,547	―	―	304,547	270,784
28～29		2. 手数料	6. 経済観光文化手数料	6,043	―	―	6,043	5,534
30～31		3. 収入証紙収入	1. 収入証紙収入	―	―	―	―	32
36～37		(18)国庫支出金 2. 国庫補助金	5. 経済観光文化費国庫補助金	2,555,309	△1,134,691	―	1,420,618	993,044

（単位：千円）

収入済額 (C)	不　納 欠損額 (D)	収　入 未済額 (B)−(C)−(D)	翌年度 繰越額 (E)	差　引 過不足(△)額 (C)+(E)−(A)	説　　明		
112,804	―	―	―	8,532	1. 観光施設費負担金	112,804	観光
270,131	113	540	―	△34,416	1. 姪浜買物広場占用料	22	商工
					2. 産学連携交流センター使用料	55,106	商工
					3. はかた伝統工芸館使用料	255	商工
					4. 市民会館使用料	71,203	文化
					5. 音楽・演劇練習場使用料	49,038	文化
					6. 博多座使用料	7,515	文化
					7. 経済観光文化施設使用料	30,353	商/観/文
					8. 美術館使用料	19,559	文化
					9. アジア美術館使用料	15,137	文化
					10. 博物館使用料	20,625	文化
					11. 赤煉瓦文化館使用料	1,134	文化
					12. 創業者育成施設使用料	182	商工
5,534	―	―	―	△509	1. 計量器検査等手数料	5,447	商工
					2. 美術館資料撮影等手数料	0	文化
					3. アジア美術館資料撮影等手数料	―	文化
					4. 博物館資料撮影等手数料	19	文化
					5. 図書資料複写手数料	66	文化
					6. 窓口相談業務従事証明書等手数料	2	商工
32	―	―	―	32	1. 収入証紙収入	32	商/文
993,044	―	―	81,606	△345,968	1. 文化財保存事業費補助金	124,223	文化
					2. 文化芸術振興費補助金	2,800	文化
					3. 国際競争力強化促進事業費補助金	6,163	商/観
					4. 地方創生推進交付金	49,779	商/観/文
					5. プレミアム付商品券事業費補助金	810,079	商工

ページ		款・項	目	予算現額				調定額
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)	(B)
48 ～ 49	8	(19)県支出金 3. 委託金	5. 経済観光文化費委託金	16	—	—	16	15
50 ～ 51		(20)財産収入 1. 財産運用収入	1. 財産貸付収入	15,466	—	—	15,466	15,539
50 ～ 55			2. 利子及び配当金	4,395	—	—	4,395	4,403
54 ～ 55		2. 財産売払収入	2. 物品売払収入	9,364	—	—	9,364	9,909
56 ～ 57		(21)寄附金 1. 寄附金	6. 経済観光文化費寄附金	234,708	—	—	234,708	131,392
60 ～ 61	9	(22)繰入金 11. 音楽産業振興基金繰入金	1. 音楽産業振興基金繰入金	500	—	—	500	500
62 ～ 63		17. 港湾整備事業特別会計繰入金	1. 港湾整備事業特別会計繰入金	4,418,187	—	—	4,418,187	4,418,187

（単位：千円）

収入済額 (C)	不納 欠損額 (D)	収入 未済額 (B)−(C)−(D)	翌年度 繰越額 (E)	差引 過不足(△)額 (C)+(E)−(A)	説明	
15	―	―	―	△1	1. 権限移譲事務費委託金 15	文化
15,539	―	―	―	73	1. 土地貸付収入 512 2. 建物等貸付収入 15,027	商/文 商/文
4,403	―	―	―	8	1. 音楽産業振興基金利子収入 16 2. 福岡城整備基金利子収入 587 3. 株式会社博多ステーションビル出資金配当金 1,400 4. 博多バスターミナル株式会社出資金配当金 2,400	商工 文化 商工 商工
9,909	―	―	―	545	1. 物品売払収入 9,909	商/文
131,392	―	―	―	△103,316	1. 商工業振興費寄附金 22 2. 観光費寄附金 99,277 3. 美術館事業寄附金 1,295 4. 福岡城跡整備事業寄附金 29,638 5. ふるさと寄附金 1,161	商工 観光 文化 文化 文化
500	―	―	―	―	1. 音楽産業振興基金受入金 500	商工
4,418,187	―	―	―	―	1. 港湾整備事業特別会計受入金 4,418,187	商工

ページ		款・項	目	予算現額				調定額
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計 (A)	(B)
64 ～ 65	9	(24)諸収入 2. 納付金	1. 納付金	9,371	△382	―	8,989	8,205
		3. 保険料収入	1. 保険料収入	15,585	△559	―	15,026	13,389
66 ～ 67		6. 預託金元利収入	3. 経済観光文化費預託金元利収入	72,842,000	―	―	72,842,000	68,586,000
70 ～ 71		11. 受託事業収入	5. 経済観光文化費受託事業収入	300,252	△65,322	―	234,930	211,218
74 ～ 75		13. 雑入	7. 経済観光文化費雑入	31,955	―	―	31,955	32,169
			13. その他の雑入	78,390	―	―	78,390	97,825
76 ～ 77		(25)市債 1. 市債	6. 経済観光文化債	336,000	―	―	336,000	253,000
歳入合計				81,266,360	△1,200,954	―	80,065,406	75,163,950

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

収入済額 (C)	不　納 欠損額 (D)	収　入 未済額 (B)−(C)−(D)	翌年度 繰越額 (E)	差　引 過不足(△)額 (C)+(E)−(A)	説　　明		
8,205	―	―	―	△784	1. 健康保険料	8,205	商/観/文
13,389	―	―	―	△1,637	1. 雇用保険料収入 2. 厚生年金保険料収入	618 12,772	商/観/文 商/観/文
68,586,000	―	―	―	△4,256,000	1. 商工金融資金元利収入	68,586,000	商工
211,218	―	―	―	△23,712	1. 埋蔵文化財発掘調査受託収入	211,218	文化
32,169	―	―	―	214	1. 向島ポンプ場施設管理費負担金 2. ESCO事業費負担金	7,796 24,374	文化 文化
96,463	41	1,321	―	18,073	1. 金融対策 2. その他	65,429 31,034	商工 商/観/文
253,000	―	―	21,000	△62,000	1. 観光施設整備債 2. 文化施設整備事業債 3. 文化財保存整備債	188,000 30,000 35,000	観光 文化 文化
75,161,934	154	1,862	102,606	△4,800,866			

（２）一般会計　（　歳　出　）

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
158 ～ 161	82	(7)経済観光文化費 1. 商工費	1. 商工総務費	938,712	△4,754	―	―	933,958
160 ～ 161	82		2. 商工業振興費	10,903,662	△1,134,694	―	―	9,768,968

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
921,041	―	12,917	1．給与費等　920,551 一般職職員　103人 関連歳入 (18) 国庫支出金　359 (24) 諸収入　13 2．その他の経費　490 関連歳入 (24) 諸収入　54
9,032,012	56,767	680,189	1．中小企業対策　1,737,118 ア　経営基盤の強化　864,479 ・プレミアム付商品券事業　809,706 ・経営相談・診断助言事業　18,929 ・小規模事業対策　13,090 ・経営支援施策普及事業　9,274 ・その他　13,480 イ　中小商業対策の推進　29,580 ・商店街チャレンジ応援プロジェクト　5,159 ・商店街イベント事業補助金　5,020 ・商店街イノベーションMonthの実施　3,680 ・商店街インバウンド対策支援事業　3,014 ・福岡市商店街プレミアム付商品券事業　1,874 ・その他　10,833 ウ　伝統産業・技能の振興　50,546 ・はかた伝統工芸館管理運営　31,586 ・技能振興関連経費　6,118 ・小学生からのキャリア教育事業　1,927 ・その他　10,915 エ　金融対策　706,300 オ　中小企業サポートセンター管理運営費　24,729 カ　人材支援の推進　58,676 ・就労相談窓口事業　51,718 ・ふくおかのしごと見える化事業　2,067 ・ふくおか地元就職・人材確保支援事業　1,910 ・その他　2,981 キ　労働施策の推進　2,808 関連歳入 (17) 使用料及び手数料　301 (18) 国庫支出金　809,719 (24) 諸収入　71,966

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
160 ～ 161	82 ～ 83	1. 商工費	2. 商工業振興費					

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
			2. 新産業・企業の集積促進　6,864,308
			ア　大学のまちづくりの推進　7,657
			イ　新産業の振興と産学連携の推進　523,022
			・九州先端科学技術研究所（ISIT）支援等　275,715
			・産学連携交流センター運営　100,292
			・エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進　49,308
			・水素リーダー都市プロジェクト　37,885
			・ロボット・システム産業振興事業　27,502
			・地方発イノベーション創出環境の構築事業　19,657
			・その他　12,663
			ウ　スタートアップ都市づくり事業　322,546
			・スタートアップ支援施設事業　218,110
			・スタートアップカフェの運営　65,314
			・国家戦略特区推進に関する総合経費　13,638
			・外国人の創業支援　5,489
			・その他　19,995
			エ　国内外企業の立地促進　6,011,083
			・企業立地促進制度の実施　5,991,435
			・重点分野の企業誘致推進事業　18,114
			・その他　1,534
			関連歳入 (17) 使用料及び手数料　56,228 (18) 国庫支出金　35,011 (20) 財産収入　1,559 (22) 繰入金　4,418,187 (24) 諸収入　1,160
			3. 国際ビジネス・クリエイティブ関連産業の振興　359,897
			ア　国際ビジネスの振興　68,451
			・アジア経済交流センター等事業　28,000
			・貿易促進事業　14,378
			・アジアビジネス促進支援事業　9,891
			・その他　16,182
			イ　クリエイティブ関連産業の振興　146,404
			・クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業　76,410
			・アジアフォーカス・福岡国際映画祭　37,428
			・クリエイティブ関連産業の振興　18,477
			・その他　14,089
			ウ　にぎわい振興　145,042
			・祭り振興事業　78,457
			・博多町家ふるさと館　57,310
			・祭りの魅力発信事業　6,564
			・屋台の魅力向上事業　2,711

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
160 ～ 161	83	1. 商工費	2. 商工業振興費					
160 ～ 161	83		3. 商工金融資金	72,842,000	―	―	―	72,842,000

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
			関連歳入 (17) 使用料及び手数料　3 (18) 国庫支出金　2,500 (20) 財産収入　16 (21) 寄附金　22 (22) 繰入金　500 (24) 諸収入　2,447 4. 計量検査費　67,459 関連歳入 (17) 使用料及び手数料　5,447 5. その他の経費　3,230 関連歳入 (20) 財産収入　3,862 (24) 諸収入　7
68,586,000	―	4,256,000	商工金融資金　68,586,000 ア　商工業振興資金　20,047,000 イ　小口事業資金　12,959,000 ウ　災害復旧特別資金　214,000 エ　設備対応資金　244,000 オ　ワールドビジネス振興資金　311,000 カ　共同事業資金　37,000 キ　新事業開拓資金　344,000 ク　創業支援資金　2,999,000 ケ　経営安定化特別資金　28,078,000 コ　不況対策特別資金　290,000 サ　特別資金　7,000 シ　緊急景気対策特別資金　2,348,000 ス　東日本大震災緊急保証特別資金　185,000 セ　環境・エネルギー対応資金　90,000 ソ　経営力強化資金　433,000 関連歳入 (24) 諸収入　68,586,000

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
162 ～ 163	84	2. 観光費	1. 観光費	2,561,464	5,370	110,475	―	2,677,309

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
2,535,212	―	142,097	1．給与費等　435,664 一般職職員　47人 2．観光・集客戦略の推進　2,099,548 ア　国際観光都市に向けた誘客　65,268 ・観光プロモーション事業　23,173 ・戦略的情報発信事業　21,410 ・クルーズ船誘致事業　7,805 ・その他　12,880 イ　MICEの振興　1,725,195 ・MICE施設維持　774,232 ・国内を代表するMICE拠点の形成　449,461 ・MICE施設整備　427,434 ・MICE誘致推進事業　37,035 ・その他　37,033 ウ　観光消費の拡大・受入環境整備　309,085 ・国民休暇村の維持管理　76,257 ・観光・ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ振興事業負担金　67,705 ・おもてなし推進事業　38,141 ・観光バス受入環境の改善　37,412 ・日本で唯一の歴史資源活性化事業　25,952 ・持続可能な観光振興の検討　12,804 ・クルーズ船観光客の受入調整　11,212 ・その他　39,602 関連歳入 (16) 分担金及び負担金　112,804 (17) 使用料及び手数料　1,050 (18) 国庫支出金　5,222 (21) 寄附金　99,277 (24) 諸収入　494 (25) 市債　188,000

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
162 ～ 165	84	3. 文化費	1. 文化振興費	2,444,008	△170	―	―	2,443,838

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
2,381,322	―	62,516	1．給与費等　1,005,958 一般職職員　117人 関連歳入 (24) 諸収入　4,718 2．文化行政の企画推進経費　17,392 ・東京五輪を契機とした文化振興推進事業　13,654 ・その他　3,738 関連歳入 (24) 諸収入　5 3．芸術文化振興経費　215,496 ・九州交響楽団補助金　162,000 ・アクロス福岡共催事業　34,197 ・その他　19,299 4．文化施設費　1,022,559 ・博多座管理運営　370,953 ・博多座維持補修　143,770 ・市民会館管理運営・維持補修　215,084 ・福岡サンパレス管理・維持補修　59,849 ・千代音楽・演劇練習場管理運営　89,536 ・祇園音楽・演劇練習場管理運営　49,388 ・千早音楽・演劇練習場管理運営　34,885 ・大橋音楽・演劇練習場管理運営　34,481 ・拠点文化施設整備事業（市民会館の再整備）　24,614 関連歳入 (17) 使用料及び手数料　136,556 (20) 財産収入　13,980 (24) 諸収入　33,191 5．文化芸術振興財団経費　119,917 ・福岡市民芸術祭　10,760 ・子ども文化芸術魅力発見事業　6,772 ・その他　102,385 関連歳入 (24) 諸収入　4,769

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
164 ～ 165	85 ～ 86	3. 文化費	2. ﾐｭｰｼﾞｱﾑ費	1,794,325	―	―	―	1,794,325

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明		
1,581,526	142,663	70,136	1．ミュージアム施策推進経費		377
			関連歳入		
			(24) 諸収入	0	
			2．美術館費		765,957
			ア　管理運営費		38,460
			イ　常設展等経費		14,767
			ウ　特別企画展経費		15,423
			エ　資料収集等経費		13,517
			オ　施設整備費		683,790
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	30,295	
			(20) 財産収入	1,820	
			(21) 寄附金	1,405	
			(24) 諸収入	3,491	
			3．アジア美術館費		268,834
			ア　管理運営費		247,309
			イ　交流事業等経費		3,525
			ウ　常設展等経費		2,532
			エ　特別企画展経費		10,521
			オ　資料収集等経費		4,947
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	17,739	
			(18) 国庫支出金	2,800	
			(20) 財産収入	371	
			(21) 寄附金	332	
			(24) 諸収入	9,746	
			4．博物館費		546,358
			ア　管理運営費		304,025
			イ　常設展等経費		13,471
			ウ　特別企画展経費		1,426
			エ　資料収集等経費		6,618
			オ　施設整備費		169,052
			カ　市史編さん経費		51,766
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	24,450	
			(20) 財産収入	7,656	
			(21) 寄附金	719	
			(24) 諸収入	18,487	
			(25) 市債	30,000	

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
166 ～ 167	86 ～ 87	3. 文化費	3. 文化財費	1,070,248	△65,328	―	―	1,004,920

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明		
855,693	88,004	61,223	**1. 文化財管理費**		**112,249**
			・一般管理費		61,189
			・展示館管理費		45,063
			（板付遺跡弥生館・鴻臚館跡展示館等）		
			・史跡・文化財マップ等多言語化事業		1,268
			・その他		4,729
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	1,287	
			(18) 国庫支出金	1,025	
			(19) 県支出金	15	
			(24) 諸収入	1,689	
			2. 埋蔵文化財調査費		**253,549**
			・受託調査費		206,669
			・緊急調査費		20,408
			・埋蔵文化財整理室の集約事業		4,874
			・その他		21,598
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	0	
			(18) 国庫支出金	10,977	
			(24) 諸収入	207,388	
			3. 文化財保存整備費		**216,183**
			ア　福岡城跡		**148,601**
			・福岡城跡復元整備事業		85,464
			・福岡城整備基金積立金		30,225
			・その他		32,912
			イ　鴻臚館跡		**14,597**
			・鴻臚館整備・活用事業		6,811
			・その他		7,786
			ウ　史跡等環境保全費		**52,985**
			関連歳入		
			(17) 使用料及び手数料	18	
			(18) 国庫支出金	82,076	
			(20) 財産収入	587	
			(21) 寄附金	29,638	
			(24) 諸収入	490	
			(25) 市債	35,000	

ページ		款・項	目	予算現額				
決算事項別明細書	主要施策成果説明書			当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費補充額及び流用額	計(A)
166 ～ 167	87	3. 文化費	3. 文化財費					
歳出合計				92,554,419	△1,199,576	110,475	0	91,465,318

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
			4. 埋蔵文化財センター費　211,152 ・施設管理費　81,945 ・月隈収蔵庫整備事業　61,572 ・埋蔵文化財センター整備事業　34,733 ・その他　32,902 関連歳入 (17) 使用料及び手数料　745 (18) 国庫支出金　23,770 (24) 諸収入　1,172 5. 赤煉瓦文化館費　58,585 ・赤煉瓦文化館改修事業　39,884 ・赤煉瓦文化館管理費　18,701 関連歳入 (17) 使用料及び手数料　1,577 (18) 国庫支出金　19,584 (24) 諸収入　155 6. 文化財事業補助金等　3,974
85,892,805	287,434	5,285,079	

（３）モーターボート競走事業会計（収益的収入）

款・項	目	予算現額			
		当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	計（A）
1. モーターボート競走事業収益 1. 営業収益		47,931,013	5,632,969	―	53,563,982
	1. 開催収益	43,609,650	5,766,000	―	49,375,650
	2. 開催事務受託収益	586,378	―	―	586,378
	3. 場間場外発売事務受託収益	3,488,318	△133,031	―	3,355,287
	4. その他営業収益	246,667	―	―	246,667
2. 営業外収益		41,815	―	―	41,815
	1. 使用料	22,352	―	―	22,352
	2. 受取利息及び配当金	3,690	―	―	3,690
	3. 長期前受金戻入	15,598	―	―	15,598
	4. 雑収益	175	―	―	175
収益的収入　合計		47,972,828	5,632,969	―	53,605,797

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	差　引 過不足（△）額 (B)+(C)−(A)	説　　明
51,506,621	―	△2,057,361	
47,526,228	―	△1,849,422	本場勝舟投票券発売金　7,275,426 電話投票勝舟投票券発売金　25,944,048 場間場外勝舟投票券発売金　14,306,754
567,704	―	△18,674	共同開催事業に伴う受託収益
3,177,231	―	△178,056	他場主催レースの発売受託収益
235,458	―	△11,209	入場料　110,615 時効金収入　67,676 その他雑収入　57,167
63,118	―	21,303	
21,455	―	△897	施設使用料 （売店貸付等）
2,591	―	△1,099	一般会計への資金融通等に係る受取利息
15,599	―	1	受贈財産評価額戻入
23,473	―	23,298	有価証券売却益　21,170 不用品売却収益　86 その他雑収益　2,217
51,569,739	―	△2,036,058	

（４）モーターボート競走事業会計（収益的支出）

款　・　項	目	予算現額				
		当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費支出及び流用増減	計(A)
1. モーターボート競走事業費用 1. 営業費用		45,867,158	4,897,195	―	―	50,764,353
	1. 開催費	43,148,749	4,893,043	―	―	48,041,792
	2. 場間場外発売事務受託費	1,021,634	―	―	―	1,021,634
	3. 総係費	848,138	4,152	―	―	852,290
	4. 減価償却費	795,118	―	―	△18,816	776,302
	5. 資産減耗費	53,519	―	―	18,816	72,335
2. 営業外費用		19,530	―	―	―	19,530
	1. 支払利息及び企業債取扱諸費	3,256	―	―	―	3,256
	2. 消費税及び地方消費税	10,000	―	―	―	10,000
	3. 雑支出	6,274	―	―	―	6,274
3. 予備費	1. 予備費	1,000	―	―	―	1,000
収益的支出　合計		45,887,688	4,897,195	―	―	50,784,883

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	説　　明
48,179,669	―	2,584,684	
45,752,779	―	2,289,013	勝舟投票券払戻金　35,185,578 返還金　475,245 船舶等振興機関交付金　1,435,673 競走実施機関交付金　597,000 地方公共団体金融機構納付金　288,525 従事員人件費　142,051 舟艇費　104,168 施設費　285,401 選手費　1,263,791 場間場外委託費　2,577,899 その他開催に係る経費　3,397,448
875,529	―	146,105	他場主催レースの発売受託費用
744,019	―	108,271	職員人件費　39 名　387,484 その他モーターボート競走事業活動に係る経費　356,535
735,007	―	41,295	有形固定資産減価償却費　731,711 無形固定資産減価償却費　3,296
72,335	―	0	固定資産除却費
14,207	―	5,323	
3,255	―	1	リース料の支払利息
5,219	―	4,781	消費税納付額
5,733	―	541	
―	―	1,000	
48,193,876	―	2,591,007	

（５）モーターボート競走事業会計（資本的支出）

款　・　項	目	予　算　現　額				
		当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費支出及び流用増減	計 (A)
1. 資本的支出						
1. 建設改良費		3,371,822	―	―	―	3,371,822
	1. 施設整備費	3,168,883	―	―	―	3,168,883
	2. 固定資産購入費	4,131	―	―	―	4,131
	3. リース資産購入費	198,808	―	―	―	198,808
2. 利益剰余金繰出金		2,000,000	―	―	―	2,000,000
	1. 他会計繰出金	2,000,000	―	―	―	2,000,000
3. 予備費	1. 予備費	1,000	―	―	―	1,000
資本的支出　合計		5,372,822	―	―	―	5,372,822

※各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

（単位：千円）

決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)−(B)−(C)	説　　明
1,897,296	990,252	484,274	
1,695,912	990,252	482,719	場内施設整備　1,503,561 競技運営設備整備　192,351
2,577	―	1,554	
198,807	―	1	
2,000,000	―	―	
2,000,000	―	―	一般会計繰出金
―	―	1,000	
3,897,296	990,252	485,274	

4. モーターボート競走事業会計利益の処分

議案第 164 号

令和元年度福岡市モーターボート競走事業会計利益の処分について

令和元年度福岡市モーターボート競走事業会計の利益を次のように処分する。

		円
1	当年度未処分利益剰余金	10,204,965,224
2	利益剰余金処分額	
	建設改良積立金	3,118,838,000
	一般会計繰出金	2,000,000,000
3	翌年度繰越利益剰余金	5,086,127,224

令和２年９月４日

福岡市長　　髙島　宗一郎

（参考１）

決算額の推移

（一般会計）

款 ・ 項	平成27年度		平成28年度	
	決 算 額	対前年比	決 算 額	対前年比
（7） 経済観光文化費	107,396,844 (94,280,894)	95.3 (92.1)	99,689,326 (88,343,471)	92.8 (93.7)
1. 商工費	97,952,989 (92,306,893)	93.5 (91.3)	92,137,021 (87,200,962)	94.1 (94.5)
2. 観光費	2,773,540 (240,475)	107.3 (107.9)	2,681,747 (311,835)	96.7 (129.7)
3. 文化費	6,670,315 (1,733,526)	125.2 (179.0)	4,870,558 (830,674)	73.0 (47.9)
一般会計 合計	107,396,844 (94,280,894)	95.3 (92.1)	99,689,326 (88,343,471)	92.8 (93.7)

（市営競艇事業特別会計）

市営競艇事業特別会計	76,332,744 (82,968,537)	89.5 (96.6)	— (—)	皆減 (皆減)

※平成28年度から企業会計へ移行したため、平成27年度は、
平成28年3月31日をもって出納を閉鎖した決算額である。

（モーターボート競走事業会計）

収益的支出	— (—)	— (—)	44,295,319 (45,981,696)	皆増 (皆増)
資本的支出	— (—)	— (—)	2,097,257 (—)	皆増 (—)
モーターボート競走事業会計 合計	— (—)	— (—)	46,392,576 (45,981,696)	皆増 (皆増)

経済観光文化局 合計	183,729,588 (177,249,431)	92.8 (94.2)	146,081,902 (134,325,167)	79.5 (75.8)

※上段は歳出、下段（　）は歳入

（単位：千円・%）

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
決 算 額	対前年比	決 算 額	対前年比	決 算 額	対前年比
89,493,145 (78,147,020)	89.8 (88.5)	81,866,092 (71,242,097)	91.5 (91.2)	85,892,805 (75,161,934)	104.9 (105.5)
82,491,662 (77,099,656)	89.5 (88.4)	74,970,476 (70,225,569)	90.9 (91.1)	78,539,053 (73,995,363)	104.8 (105.4)
2,505,420 (220,601)	93.4 (70.7)	2,554,310 (370,156)	102.0 (167.8)	2,535,212 (406,845)	99.3 (109.9)
4,496,063 (826,763)	92.3 (99.5)	4,341,306 (646,372)	96.6 (78.2)	4,818,540 (759,726)	111.0 (117.5)
89,493,145 (78,147,020)	89.8 (88.5)	81,866,092 (71,242,097)	91.5 (91.2)	85,892,805 (75,161,934)	104.9 (105.5)

— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)

44,987,367 (47,624,572)	101.6 (103.6)	42,443,088 (45,048,469)	94.3 (94.6)	48,193,876 (51,569,739)	113.5 (114.5)
2,392,631 (—)	114.1 (—)	2,933,939 (—)	122.6 (—)	3,897,296 (—)	132.8 (—)
47,379,998 (47,624,572)	102.1 (103.6)	45,377,027 (45,048,469)	95.8 (94.6)	52,091,172 (51,569,739)	114.8 (114.5)

136,873,143 (125,771,592)	93.7 (93.6)	127,243,119 (116,290,566)	93.0 (92.5)	137,983,977 (126,731,673)	108.4 (109.0)

（参考2）
モーターボート競走事業会計財務諸表

令和元年度　福岡市モーターボート競走事業損益計算書

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（単位　円）

1 営業収益			
(1) 開催収益	47,526,228,100		
(2) 開催事務受託収益	567,704,119		
(3) 場間場外発売事務受託収益	3,177,230,998		
(4) その他営業収益	221,873,591	51,493,036,808	
2 営業費用			
(1) 開催費	45,341,283,049		
(2) 場間場外発売事務受託費	805,547,655		
(3) 総係費	723,816,273		
(4) 減価償却費	735,006,610		
(5) 資産減耗費	72,334,500	47,677,988,087	
営業利益			3,815,048,721
3 営業外収益			
(1) 使用料	19,709,278		
(2) 受取利息及び配当金	2,590,684		
(3) 長期前受金戻入	15,598,924		
(4) 雑収益	23,460,978	61,359,864	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	3,255,077		
(2) 雑支出	636,729,494	639,984,571	△ 578,624,707
経常利益			3,236,424,014
当年度純利益			3,236,424,014
前年度繰越利益剰余金			6,968,541,210
当年度未処分利益剰余金			10,204,965,224

令和元年度　福岡市モーターボート競走事業剰余金計算書

（平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで）

	資本金	剰余金	
		利益剰余金	
		未処分利益剰余金	利益剰余金合計
	円	円	円
前年度末残高	24,128,947,388	8,968,541,210	8,968,541,210
前年度処分額	0	△ 2,000,000,000	△ 2,000,000,000
議会の議決による処分額	0	△ 2,000,000,000	△ 2,000,000,000
一般会計繰出金	0	△ 2,000,000,000	△ 2,000,000,000
		（繰越利益剰余金）	
処分後残高	24,128,947,388	6,968,541,210	6,968,541,210
当年度変動額	0	3,236,424,014	3,236,424,014
当年度純利益	0	3,236,424,014	3,236,424,014
		（当年度未処分利益剰余金）	
当年度末残高	24,128,947,388	10,204,965,224	10,204,965,224

令和元年度　福岡市モーターボート競走事業剰余金処分計算書

	資本金	未処分利益剰余金
	円	円
当年度末残高	24,128,947,388	10,204,965,224
議会の議決による処分額	0	△ 5,118,838,000
建設改良積立金の積立	0	△ 3,118,838,000
一般会計繰出金	0	△ 2,000,000,000
		（繰越利益剰余金）
処分後残高	24,128,947,388	5,086,127,224

令和元年度　福岡市モーターボート競走事業貸借対照表

（令和2年3月31日）

（単位　円）

資　産　の　部

1．固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		12,636,725,754		
イ 建物	10,424,802,738			
減価償却累計額	△ 2,510,777,385	7,914,025,353		
ウ 構築物	927,513,905			
減価償却累計額	△ 274,113,756	653,400,149		
エ 機械及び装置	1,391,545,488			
減価償却累計額	△ 510,122,072	881,423,416		
オ 車両運搬具	827,500			
減価償却累計額	△ 402,840	424,660		
カ 船舶	34,783,873			
減価償却累計額	△ 15,036,214	19,747,659		
キ 工具，器具及び備品	29,062,730			
減価償却累計額	△ 12,144,283	16,918,447		
ク リース資産	882,050,000			
減価償却累計額	△ 177,876,720	704,173,280		
ケ 建設仮勘定		1,041,741,595		
有形固定資産合計			23,868,580,313	
(2) 無形固定資産				
ア 商標権		225,960		
イ ソフトウェア		4,495,400		
無形固定資産合計			4,721,360	
固定資産合計				23,873,301,673
2．流動資産				
(1) 現金預金			10,061,301,129	
(2) 未収金			295,318,643	
(3) 前払金			12,023	
(4) 繰出金			2,000,000,000	
流動資産合計				12,356,631,795
資産合計				36,229,933,468

負　債　の　部

3．固定負債				
(1) リース債務			22,108,113	
固定負債合計				22,108,113
4．流動負債				
(1) リース債務			160,799,498	
(2) 未払金			1,222,352,007	
(3) 前受金			9,345,040	
(4) 引当金				
ア 賞与引当金		43,902,000		
引当金合計			43,902,000	
(5) 預り金			36,121,458	
流動負債合計				1,472,520,003
5．繰延収益				
(1) 長期前受金				
ア 受贈財産評価額	458,288,436			
収益化累計額	△ 56,895,696	401,392,740		
長期前受金合計			401,392,740	
繰延収益合計				401,392,740
負債合計				1,896,020,856

資　本　の　部

6．資本金				
(1) 資本金				24,128,947,388
7．剰余金				
(1) 資本剰余金				
資本剰余金合計			－	
(2) 利益剰余金				
ア 当年度未処分利益剰余金		10,204,965,224		
利益剰余金合計			10,204,965,224	
剰余金合計				10,204,965,224
資本合計				34,333,912,612
負債資本合計				36,229,933,468

（参考３）
負担金，補助及び交付金の支出状況

①一般会計　　（単位：千円）

名称	交付先	予算現額	支出済額	不用額	所管課
伝統産業振興負担金	（商工費）	4,415	4,415	―	
	福岡県物産振興会	200	200	―	地域産業支援課
	福岡市伝統的工芸品振興委員会	4,120	4,120	―	地域産業支援課
	全国伝統的工芸品まつり出品協議会	95	95	―	地域産業支援課
地域産業振興負担金	（商工費）	306,480	304,830	1,650	
	福岡中小企業元気都市推進事業実行委員会	1,500	1,500	―	経営支援課
	福岡地域戦略推進協議会	1,750	1,750	―	地域産業支援課
	スタートアップ支援施設運営委員会	87,106	87,106	―	創業支援課
	福岡スタートアップ・サポーターズ協議会	8,008	8,008	―	創業支援課
	福岡県ロボット・システム産業振興会議	27,550	27,502	48	新産業振興課
	福岡エレコン交流会	300	300	―	新産業振興課
	福岡水素エネルギー戦略会議	1,500	1,500	―	新産業振興課
	福岡グリーン水素活用推進協議会	30,000	30,000	―	新産業振興課
	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会	120	120	―	新産業振興課
	福岡県産業・科学技術振興財団	8,725	8,725	―	産学連携課
	福岡県産業デザイン協議会	200	200	―	コンテンツ振興課
	福岡ミュージックマンス主催者会	1,500	1,500	―	コンテンツ振興課
	福岡ゲーム産業振興機構	7,300	7,300	―	コンテンツ振興課
	福岡アジアファッション拠点推進会議	10,000	8,398	1,602	コンテンツ振興課
	福岡フィルムコミッション	2,805	2,805	―	コンテンツ振興課
	アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会	33,300	33,300	―	コンテンツ振興課
	クリエイティブ福岡推進協議会	75,980	75,980	―	コンテンツ振興課
	明星和楽実行委員会	6,500	6,500	―	コンテンツ振興課
	福岡eスポーツ協会	2,336	2,336	―	コンテンツ振興課
広域大学連携事業負担金	（商工費）	6,812	6,812	―	
	福岡未来創造プラットフォーム	5,000	5,000	―	産学連携課
	はたらくふくおか実行委員会	1,812	1,812	―	産学連携課
スタートアップ都市推進協議会負担金	（商工費）	1,000	858	142	
	スタートアップ都市推進協議会	1,000	858	142	創業支援課
海外市場開拓負担金	（商工費）	10,080	10,051	29	
	福岡アジアビジネス支援委員会	1,800	1,800	―	国際経済課
	福岡フードビジネス協議会	1,200	1,190	10	国際経済課
	フードエキスポ九州実行委員会	3,500	3,500	―	国際経済課
	国際ビジネスセミナー実行委員会	3,580	3,561	19	国際経済課
貿易振興関係協議会等負担金	（商工費）	33,300	33,300	―	
	日本貿易振興機構	4,700	4,700	―	国際経済課
	九州経済国際化推進機構	600	600	―	国際経済課
	福岡貿易会	28,000	28,000	―	国際経済課

名称	交付先	予算現額	支出済額	不用額	所管課
にぎわい活性化負担金	（商工費）	47,851	46,949	902	
	福岡県夏の三大祭り推進協議会	150	150	―	まつり振興課
	どんたく参加実行委員会	4,727	4,725	2	まつり振興課
	福岡市民の祭り振興会	34,364	34,364	―	まつり振興課
	博多祇園山笠事業委員会	7,710	7,710	―	まつり振興課
	おおほりまつり実行委員会	900	0	900	まつり振興課
プレミアム付商品券事業負担金	（商工費）	1,196,657	809,130	330,760	
	プレミアム付商品券事業実行委員会	1,196,657	809,130	330,760	政策調整課
観光関係協議会等負担金	（観光費）	18,904	14,969	3,935	
	福岡空港国際観光案内所運営協議会	2,000	2,000	―	観光産業課
	福岡市ホテル旅館協会	1,368	1,368	―	観光産業課
	九州縦断観光ルート協議会	2,500	2,500	―	観光マーケティング課
	福岡県観光推進協議会	2,280	2,280	―	観光マーケティング課
	東アジア経済交流推進機構	354	0	354	観光マーケティング課
	グランドクロス広域連携協議会	111	111	―	観光マーケティング課
	福岡市・九州離島広域連携協議会	10,050	6,469	3,581	観光マーケティング課
	福岡地区観光協議会	241	241	―	地域観光推進課
観光・コンベンション振興事業負担金	（観光費）	214,325	209,412	4,913	
	福岡観光コンベンションビューロー	197,135	192,222	4,913	観光産業課
	福岡検定実行委員会	2,810	2,810	―	観光産業課
	ライトアップウォーク実行委員会	9,500	9,500	―	地域観光推進課
	福岡おもてなし委員会	4,380	4,380	―	観光マーケティング課
	国際観光振興機構	500	500	―	MICE推進課
ふくおか歴史資源活用協議会負担金	（観光費） （文化費）	3,838	3,838	―	
	ふくおか歴史資源活用協議会	3,838	3,838	―	地域観光推進課 文化財活用課
博多の魅力発信会議負担金	（観光費）	4,500	4,500	―	
	博多の魅力発信会議	4,500	4,500	―	地域観光推進課
文化事業費負担金	（文化費）	62,318	57,894	4,424	
	日本伝統工芸展福岡展実行委員会	200	200	―	文化振興課
	九州文化協会	1,280	1,280	―	文化振興課
	アクロス福岡自主文化共催事業実行委員会	35,000	34,197	803	文化振興課
	地域創造	8,763	8,763	―	文化振興課
	まるごとミュージアム実行委員会	17,075	13,454	3,621	文化振興課
特別企画展負担金	（文化費）	44,740	35,405	9,335	
	福岡市美術展運営委員会	2,400	2,400	―	美術館
	特別企画展実行委員会（美術館）	21,840	21,285	555	美術館
	特別企画展実行委員会（アジア美術館）	10,700	10,521	179	アジア美術館
	特別企画展実行委員会（博物館）	9,800	1,199	8,601	博物館
福岡城さくらまつり実行委員会負担金	（文化費）	200	0	200	
	福岡城さくらまつり実行委員会	200	0	200	史跡整備活用課
負担金　計		1,955,420	1,542,363	413,057	

※諸会議費負担金、工事費負担金、共益費負担金及び施設管理費負担金は除く。

名称	交付先	予算現額	支出済額	不用額	所管課
小規模事業指導補助金	（商工費）	13,090	13,090	―	
	早良商工会	3,200	3,200	―	経営支援課
	志賀商工会	3,000	3,000	―	経営支援課
	福岡商工会議所	6,890	6,890	―	経営支援課
共同事業促進補助金	（商工費）	21,642	10,438	11,204	
	商店街等(23件)	21,642	10,438	11,204	地域産業支援課
受注促進及び販路開拓推進事業補助金	（商工費）	1,700	1,700	―	
	福岡県中小企業振興センター	850	850	―	経営支援課
	福岡市機械金属工業会	850	850	―	経営支援課
高度化促進補助金	（商工費）	1,810	1,803	7	
	福岡地区中小企業団体連合会	1,700	1,700	―	政策調整課
	六社会協同組合	110	103	7	経営支援課
労働環境・従業員福祉促進事業補助金	（商工費）	2,698	2,606	92	
	福岡地域労働者福祉推進協議会	2,698	1,100	92	経営支援課
	福岡市中小企業従業員福祉協議会		1,506		経営支援課
技能振興事業補助金	（商工費）	4,227	4,227	―	
	福岡市技能職団体連合会	4,227	4,227	―	地域産業支援課
創業者育成補助金	（商工費）	4,604	3,658	946	
	創業者等(8件)	4,604	3,658	946	創業支援課
伝統産業振興補助金	（商工費）	5,910	5,910	―	
	博多人形商工業協同組合	1,200	1,200	―	地域産業支援課
	福岡県伝統的工芸品振興協議会	200	200	―	地域産業支援課
	博多伝統職の会	510	510	―	地域産業支援課
	博多織技能開発養成学校	4,000	4,000	―	地域産業支援課
福岡流通団地振興補助金	（商工費）	340	340	―	
	福岡流通センター連合会	340	340	―	経営支援課
にぎわい活性化補助金	（商工費）	32,900	32,621	279	
	博多祇園山笠振興会	27,800	27,800	―	まつり振興課
	博多松囃子振興会	2,200	2,200	―	まつり振興課
	博多仁和加振興会	300	300	―	まつり振興課
	中洲まつり実行委員会	1,300	1,300	―	まつり振興課
	ふくこいアジア祭り組織委員会	1,000	1,000	―	まつり振興課
	屋台営業者団体	300	21	279	まつり振興課
産学連携推進補助金	（商工費）	311,167	307,636	3,531	
	九州先端科学技術研究所	311,167	307,636	3,531	新産業振興課
観光振興事業補助金	（観光費）	500	0	500	
	民間事業者等を構成員とする団体	500	0	500	地域観光推進課
福岡コンベンションセンター補助金	（観光費）	561,087	560,477	610	
	福岡コンベンションセンター	561,087	560,477	610	MICE推進課

名称	交付先	予算現額	支出済額	不用額	所管課
文化事業費補助金	（文化費）	289,404	288,541	863	
	福岡市文化芸術振興財団	120,780	119,917	863	文化振興課
	九州交響楽団	162,000	162,000	―	文化振興課
	西日本文化協会	1,350	1,350	―	文化振興課
	福岡県美術展覧会実行委員会	234	234	―	文化振興課
	筑前琵琶保存会	70	70	―	文化振興課
	筑前琵琶福岡旭会	70	70	―	文化振興課
	西部伝統工芸展実行委員会	70	70	―	文化振興課
	福岡文化連盟	920	920	―	文化振興課
	帝国華道院九州連合会	70	70	―	文化振興課
	西日本華道連盟福岡支部	70	70	―	文化振興課
	亀陽文庫	520	520	―	文化振興課
	船乗り込み実行委員会	2,850	2,850	―	文化施設課
	日本国際文化協会九州センター　鯉の会	400	400	―	文化施設課
文化財事業費補助金	（文化費）	2,898	2,780	118	
	文化財の保持者又は保持団体(23件)	1,920	1,803	117	文化財活用課
	歴史と自然をまもる会	978	977	1	文化財活用課
文化財保存事業費補助金	（文化費）	1,194	1,194	―	
	文化財の所有者(3件)	1,194	1,194	―	文化財活用課
補助金　計		1,255,171	1,237,021	18,150	
立地交付金	（商工費）	5,072,711	5,034,185	38,526	
	認定事業者(48件)	5,072,711	5,034,185	38,526	企業誘致課
交付金　計		5,072,711	5,034,185	38,526	

②モーターボート競走事業会計

（単位：千円）

名称	交付先	予算現額	支出済額	不用額	所管課
選手共済分担金		131,705	131,705	―	
	全国モーターボート競走施行者協議会	131,705	131,705	―	経営企画課
施行者協議会負担金		225,778	220,091	5,687	
	全国モーターボート競走施行者協議会	222,627	216,940	5,687	経営企画課
	九州地区モーターボート競走施行者協議会	1,592	1,592	―	経営企画課
	福岡県内モーターボート競走施行者協議会	1,559	1,559	―	経営企画課
競走実施機関負担金		7,010	6,772	238	
	日本モーターボート競走会	7,010	6,772	238	経営企画課
防犯協議会負担金		1,450	1,450	―	
	福岡競艇場防犯対策協議会	1,450	1,450	―	開催運営課
負担金　計		365,943	360,018	5,925	
船舶等振興機関交付金		1,438,430	1,435,673	2,757	
	日本財団	1,438,430	1,435,673	2,757	経営企画課
競走実施機関交付金		599,696	597,000	2,696	
	日本モーターボート競走会	599,696	597,000	2,696	経営企画課
交付金　計		2,038,126	2,032,673	5,453	
地方公共団体金融機構納付金		288,526	288,526	―	
	地方公共団体金融機構	288,526	288,526	―	経営企画課
納付金　計		288,526	288,526	―	

※諸会議費負担金、工事費負担金、共益費負担金及び施設管理費負担金は除く。